

2-3 補助金管理委員会

- ・ クラブで実施した地区補助金プロジェクトの管理に関する全般を統括する。
- ・ 完了報告書作成を支援する。

2-4 資金推進委員会(ポリオプラス・ロータリーカードを含む)

- ・ 財団活動を啓蒙する。財団月間に限らず卓話者をクラブに派遣する。
- ・ ガバナー目標を達成するため、資金推進に関する全般を統括する。
- ・ クラブや会員の表彰や認証を推薦する。
- ・ 財団月間のクラブ卓話依頼に関する情報を統括管理する。
卓話資料を作成する。
卓話者を適切に割り当てる。
- ・ ポリオプラス活動を支援する。
- ・ 年に一回顕彰することが出来る財団特別功労賞・財団功労賞・財団奉仕賞の規定を作り、候補を挙げる手続きをする。
- ・ ロータリー賞を推進する。

IV. クラブロータリー財団委員会の役割

ロータリー財団の理念と仕組みをクラブ会員に対して理解を促進する。

- ① クラブ会員に「シェアシステム」「財団プログラム」「寄付の使途」等ロータリー財団の仕組みを理解してもらう。
- ② ロータリー財団の地区補助金及びグローバル補助金を理解し、活用を促してクラブ会員全員が参加する奉仕プロジェクトを促す。
- ③ クラブのロータリー財団寄付の目標を設定し、クラブセントラルに入力するとともに、その目標を達成する努力を各会員に促す。
- ④ 奉仕活動推進のためのロータリー財団への年次寄付等、地区目標をクラブ会員に理解してもらう。

地区目標

1. 年次寄付200ドル以上/1 名
2. ポリオ寄付 40ドル/1名
3. 恒久基金1000ドル以上/1 クラブ

会員の皆様からロータリー財団にご寄付いただいた資金は寄付の種類により、資金使途が異なります。

① 年次基金寄付金

3年間資金を運用して、その運用益はロータリー財団の管理運営費に充当されます。3年後に元金全額を地区補助金・グローバル補助金等地区やロータリー財団で使います。3年前の年次基金寄付(元金)が私たちの地区に配分される仕組みは、次項のシェアシステムで示しています。

② 恒久基金寄付金

元金は使わず、1年間の運用益のみが地区財団活動資金(DDF)とロータリー財団で使われます。ただし運用益はゼロの場合もあります。

次ページのシェアシステムを参照してください。

③ 使途指定寄付

- A. ポリオプラス
- B. ロータリー平和センター
- C. グローバル補助金のクラブからの寄付(Cash)
- D. その他

VI. 公益財団法人ロータリー日本財団

一般的にクラブ会員からの寄付は公益財団法人ロータリー日本財団を経由してロータリー財団に全額寄付されます。そして、確定申告時に税優遇措置制度を受けることができます。

My Rotary からカードで直接寄付しても税の優遇措置を受けることができます。

ロータリー補助金の概要(地区補助金とグローバル補助金)

地区補助金の概要	
財源等	地区補助金の財源は、地区財団活動資金(DDF)とクラブ拠出金です。当地区では、DDFの概ね50%を地区補助金に配分します。各クラブ等への配分額は、内容や申請クラブ数や申請状況等により減額する場合があります。 事業内容: 「ロータリー財団の使命に関連したプロジェクト及び「ロータリアンが積極的に参加するプロジェクト」事業。
申請	地区が一括して申請し、一括して補助金を受け取ります。 その後地区から補助金を各クラブ等に送金します。
期間	比較的短期間のプロジェクトです。実施年度の7月からその翌年5月10日までに完了しなければなりません。但し、プロジェクトへの支払いは、地区より入金後に行ってください。
規模	比較的小規模なプロジェクト。(但し、規模に制限はありません。)クラブの継続事業でも3年に1回は申請可。但し、相手先、内容を刷新したプロジェクトにしていきたい。
奨学生	奨学期間は1年から2年。奨学金は1年間の費用を支援する。 研究分野・留学先を問わず、海外の大学又は大学院で学ぶ方。但し、地区内に本籍、居住地、通学・勤務先のいずれかがあること。
予算	1件当たりのプロジェクトへの補助金「一般応募」は、奉仕プロジェクト費用の80%かつ50万円を上限に配分します。但し、50万円を超え100万円未満の地区補助金申請「特別応募」は、地区へ個別にご相談下さい。 特別応募の場合は、月次の資金管理報告が義務付けられていますので、事前に財団補助金管理委員会より必ず個別説明を受けて下さい。
地域	国内の活動でも、国際レベルの活動でも可能です。 相手国にロータリークラブの有無は問いません。
その他	青少年の旅行を伴う事業は制約事項があります。 奉仕プロジェクトの分野は問いません。 実施済みの地区補助金プロジェクトに対する完了報告書を期限までに速やかに提出しなければなりません。 プロジェクトの終了後残金が生じた場合、補助金は財団に返却していただきます。 グローバル補助金プロジェクトに限り、海外で奉仕活動をするため、またはプロジェクトの調査をするためのロータリアンの旅費は地区補助金で申請できます。

I. 寄付

1. 寄付分類

寄付分類はこちらから選んでください。寄付者の希望によって選ぶことができます。

年次基金

ロータリーは、世界中の地域社会で、平和の推進、水と衛生の改善、教育の支援、地元経済の促進、母子の健康改善、疾病の治療・予防といった活動にあたっています。年次基金は、このような取り組みを支えます。

年次基金の種類

シェア	寄付の50%が3年後にDDF(地区財団活動資金)に、残り50%はWF(国際財団活動資金)になります。
WF(国際財団活動資金)※1	グローバル補助金に対する上乗せやその他財団プログラムの資金等に活用されます。
重点分野※2	6つの重点分野のいずれかを指定して寄付ができます。

恒久基金

年次基金が今日の活動を支える一方、恒久基金へのご寄付は、未来において持続可能なプロジェクトを実施するために必要な財源となります。恒久基金へのご寄付は投資され、元金が支出されることはなく、利用可能な収益の一部がロータリー財団プログラムを恒久的に支えます。また、遺贈のご寄付は、恒久基金となります。

恒久基金の種類

シェア	利用可能な利益の50%がDDFに、残りの50%がWFになります。使用可能な収益が通知されるのは10月頃です。
WF(国際財団活動資金)※1	利用可能な収益の全額がWFになります。WFは、グローバル補助金に対する上乗せや他財団プログラムの資金等に活用されます。
ロータリー平和センター	ロータリー平和センター維持費や奨学金等、プログラム全体にかかわる費用を支援します。
重点分野※2	6つの重点分野のいずれかを指定して寄付ができ、使用可能な収益がプロジェクトに活用されます。
冠名基金※3	恒久基金累計25,000ドル以上で冠名基金を設立できます。冠名基金を保有している方は、ご自身の基金に寄付を特化することができます。基金番号を寄付送金明細書にご記入ください。

ポリオプラス

ポリオ撲滅活動を支援します。支援例: ワクチン投与、報告・モニタリング、症例分析、輸送手段、ヘルスキャンプの設置、広報活動など

3.領収証

公益財団法人ロータリー日本財団への寄付は特定公益増進法人への寄付として、税制上の優遇措置が受けられます。領収証は、確定申告の際に必要な重要な書類です。再発行はできませんので、大事に保管してください。

個人向け領収証

発行・到着予定時期(半年ごとにクラブへ発送)

寄付した時期	領収書発行時期	クラブへ到着予定時期
1月～6月までのご寄付	7月末発行	8月初旬到着予定
7月～12月目までのご寄付	1月末発行	2月初旬到着予定

Ⅱ. 認証

1.個人の認証

ロータリー財団では、個人からのご寄付に対して感謝の気持ちを表すために、さまざまな認証の機会をご用意しています。個人の認証には以下の種類があります。

寄付分類と対象となる認証

寄付分類名		個人認証の種類				
		「財団の友」会員	ポール・ハリス・フェロー マルチプル・ハリス・フェロー	ポール・ハリス・ソサエティー	メジャー・ドナー アーチ・クラフ・ソサエティー	ベネファクター 遺贈友の会
年次基金		○対象	○対象		○対象	×対象外
恒久基金		×対象外	×対象外			○対象
ポリオプラス		×対象外	○対象			×対象外
その他	グローバル補助金への拠出	×対象外	○対象			×対象外
	指定寄付	×対象外	×対象外			×対象外

2. クラブのバナー認証／感謝状

認証を受けたクラブには、認証品としてバナー(5種類)や感謝状(1種類)が贈られます。

クラブ表彰

100%「Every Rotarian, Every Year」クラブ

一年度中に正会員全員が、年次基金へ少なくとも25ドルの寄付をして、一人当たりの年次基金平均寄付額が100ドルに達しているクラブに贈られます。(認証を受けるための手続きは不要)

100%ロータリー財団寄付クラブ

一年度中に正会員全員が、寄付分類に関わらず少なくとも25ドルの寄付をして、一人当たりの平均寄付額が100ドルに達しているクラブに贈られます。(認証を受けるための手続きは不要)

100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ

一年度中に正会員全員が、一括でも合計でも1年度中に1,000ドル以上を寄付したクラブに贈られます。対象となる寄付分類は、年次基金／ポリオプラス／承認されたグローバル補助金です。(認証を受けるための手続きは不要)

年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ

地区内で、一年度中に一人当たりの年次基金への平均寄付額が上位3位に入ったクラブに贈られます。(認証を受けるための手続きは不要)※クラブは一人当たりの年次基金への平均寄付額※が最低50ドルに達していなければなりません。



留意点

- 一人当たりの平均寄付額は、年度初め(7月1日)の会員数を基に計算します。この計算に使う寄付額には、年度途中の退会者、新入会員または法人からの寄付も含まれます。
- 「正会員全員からの寄付」の対象となるのは、6月30日現在の正会員となります(6月30日退会者含む)。年度中の退会者、新入会員は含まれません。

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ

クラブの正会員全員がポール・ハリス・フェローになっているクラブに贈られます。(1度限り)

- このバナー認証を受けるには、認証を申し込む時点で、クラブの正会員全員がポール・ハリス・フェローになっていなければなりません。My ROTARYから「クラブ認証概要レポート」にて確認することができます
- クラブには地区経由でバナーが贈られます。1度限りのこの認証は、年度を通じて随時授与されます。



申請方法

クラブが要件を満たしていることを「クラブ認証概要レポート」で確認した上で、申請書を提出します。年度を通じて随時授与されます。申請書には地区ガバナーとクラブ会長の署名が必要となります。申請書は巻末の書式をご利用下さい。ワードの書式をご希望の際は、財団室までご連絡下さい。

End Polio Now感謝状

ポリオプラスへ1,500ドル以上を寄付したクラブに贈られる感謝状です。

ロータリー賞

ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブは、各種目標を達成することで、「ロータリー賞」を受賞することができます。財団への寄付に関する項目もあり、受賞を目指すクラブは、受賞のための項目の詳細について、会長テーマと一緒に発表されるパンフレットをご確認下さい。受賞条件は会長のテーマや目標によって毎年変わります。

ロータリー財団功労表彰状

ロータリー財団と関連した活動に積極的に取り組んだロータリアンを称える賞です。

推薦者: 地区ロータリー財団委員長(地区ガバナーの承認が必要)

推薦期間: 11月～12月

表彰形式: 電子形式の表彰状

リソース: [オンラインの推薦フォーム](#)

ロータリー財団特別功労賞

ロータリー財団において模範的な奉仕を实践したロータリアンに与えられる財団最高の賞です。ロータリアンは、功労表彰状を受賞後、少なくとも丸4年が経過してから、財団特別功労賞の候補者となる資格を得ます。

推薦者: 地区ガバナー

推薦期間: 1月1日～2月28/29日

表彰形式: ピンおよびクリスタルの表彰

リソース: [オンラインの推薦フォーム](#)

[説得力のある推薦書を書くためのヒント\(PDF\)](#)

<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/learn-topic/awards>

ロータリー財団地区奉仕賞

財団プログラムを通じて優れた奉仕活動を実践したロータリアンを表彰するものです。

推薦者: 地区ガバナー(地区財団委員長から提出された推薦を受理)

推薦期間: 通年(地区大会前が理想的)

表彰形式: 電子形式の表彰状

リソース: [ロータリー財団地区奉仕賞のテンプレート\(PDF\)](#)

財団認証ポイントについて



財団認証ポイントとは何ですか。また、ポイントはどのように貯まるのですか。

財団認証ポイントとは、年次プログラム基金またはポリオ・プラスを通じてロータリー財団に寄付をした方、あるいは財団補助金の提唱者負担金として寄付をした方に授与されるものです。これらの寄付をした方には、1米ドルにつき1ポイントが与えられます。恒久基金への寄付は財団認証ポイントの対象とはならないことにご留意ください。

寄付者は、自分の認証ポイントを使って（移譲することによって）、自分以外の人をポール・ハリス・フェロー（またはマルチプル・ポール・ハリス・フェロー）にすることができます。財団認証ポイントは、寄付者が亡くなるまで、または寄付者がポイントを使い切るまで、寄付者ご本人のものとして保存されます（ただし、大口寄付者が亡くなった場合はその配偶者が認証ポイントを使用することができます）。

財団認証ポイントを移譲するには、どうすればよいですか。

一度に移譲できるのは最低100ポイントとなり、認証ポイント移譲の要請書式を提出する際に承認の署名が必要となります。

- ・個人が所有する認証ポイントの移譲を承認できるのは、寄付者ご本人のみとなります。
- ・クラブが所有する認証ポイントの移譲を承認できるのは、クラブ会長のみとなります。
- ・地区が所有する認証ポイントの移譲を承認できるのは、地区ガバナーのみとなります。

寄付者個人の認証ポイントをクラブまたは地区に移譲することはできない場合があります。

亡くなったロータリアンの財団認証ポイントを移譲することはできますか。

いいえ。亡くなったロータリアンの財団認証ポイントは無効となります。ただし、例外として、亡くなった方が大口寄付者である場合には、その配偶者（またはパートナー）がご存命中に認証ポイントをお使いいただけます。

企業や団体もポール・ハリス・フェローとなることができますか。

いいえ。ポール・ハリス・フェローとなることができるのは個人に限られます。その代わりに、1,000米ドル以上のご寄付を行った企業や団体には、感謝状（財団が発行する表彰状）を贈ることができます。

亡くなった方にポール・ハリス・フェローの称号を贈ることはできますか。

はい。寄付者は、メモリアル・ポール・ハリス・フェローの要請をすれば、亡くなった方をポール・ハリス・フェローとすることができます。詳しくは日本事務局財団室までお問い合わせください。

財団認証ポイントを大口寄付者の認証に使うことはできますか。

いいえ。大口寄付者の認証は、個人による直接寄付の累積実額のみが適用されます。

どの報告書を見れば、財団認証ポイントを確認できますか。

会員アクセスを通じて、クラブと地区の指導者はクラブ認証概要報告書（Club Recognition Summary）を見ることができます。この報告書に、認証額、財団認証ポイント、現在のポール・ハリス・フェローのレベル、およびポール・ハリス・フェロー認証の（次の）レベルに達したことを示すデータが記載されています。

個人の寄付者は、会員アクセスを通じて、自分の寄付履歴、認証額、財団認証ポイントを見ることができます。また、財団からご自分の寄付履歴報告書（Donor History Report）を取り寄せることもできます（日本事務局財団室までご連絡ください）。

財団認証ポイントについて お問い合わせ：RotaryFoundation.Japan@rotary.org

クラブ認証概要報告書(Club Recognition Summary)にある「認証額(recognition amount)」と「財団認証ポイント(Foundation recognition point)」の違いは何ですか。

認証額(Recognition amount)とは、本人の寄付により累積したポール・ハリス・フェロー認証の額、ならびにほかの人、クラブ、地区から移譲された財団認証ポイントが反映されています。個人に授与された財団認証ポイントは、大口寄付者の認証には適用されず、クラブ認証概要報告書に記載されるのは最高9,000ポイントまでとなります(9,000ポイントを超えるポイントがある場合には「+」が表示されます)。

利用可能な財団認証ポイント(Available Foundation recognition points)は、本人による財団への直接寄付の累積額を反映したポイント数を示しています。記載されているポイントはすべて、移譲を通じて自分以外の人をポール・ハリス・フェローに指定するために使用できます。

クラブと地区も財団認証ポイントを貯めることができますか。

はい。クラブは「クラブ認証概要報告書(Club Recognition Summary)」で、その時点のクラブの認証ポイントを確認することができます。

地区の認証ポイントは、「寄付履歴報告書(Donor History Report)」に記載されています。この報告書が必要な地区は、日本事務局財団室までご連絡ください。

財団への寄付を奨励するために財団認証ポイントを利用することができますか。

会員からの寄付に対し、これと同額の認証ポイントをクラブがこの会員に移譲(マッチング)することで、年次プログラム基金への寄付を奨励できます。これにより、クラブの年次寄付目標を達成したり、100%ポール・ハリス・フェロー・クラブを実現する可能性も高まるでしょう。

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブに向けたクラブの状況は、「クラブ認証概要報告書(Club Recognition Summary)」に記載されている正会員の認証額(recognition amounts)でご確認いただけます。

また、年次寄付目標に向けたクラブの寄付状況は、「月次寄付報告書(Monthly Contribution Report)」でご確認いただけます。

財団認証ポイントが使用できる認証の機会

ポール・ハリス・フェロー ポール・ハリス・フェローの認証は、直接寄付または累積額のいずれかの形で、年次プログラム基金、ポリオ・プラス、国際財団活動資金(WF)に対し、または財団補助金の提唱者寄付として、1,000米ドル以上を寄付した個人(またはその名義で寄付された個人)への感謝を表するための認証であり、認証状と認証ピンが贈られます。また、 <u>ポール・ハリス・フェローのメダル</u> も、一つ15ドルで shop.rotary.org からご注文いただけます。	
感謝状 時に、寄付者が1,000米ドルを寄付することによって、企業や組織への感謝の意を表したいと希望する場合があります。この場合、ポール・ハリス・フェローの認証は個人のみを対象に行われるものであるため、その代わりとしてこれらの企業や組織に「感謝状」が贈られます。	
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証は、最初の1,000ドルの後に行われる寄付1,000ドルごとに(例: 2,000ドル、3,000ドルなど)授与されます。認定は、寄付額のレベルに相当する宝石の付いた襟ピンの贈呈をもって行われます。	2,000～2,999.99米ドル—サファイア1個 3,000～3,999.99ドル—サファイア2個 4,000～4,999.99ドル—サファイア3個 5,000～5,999.99ドル—サファイア4個 6,000～6,999.99ドル—サファイア5個 7,000～7,999.99ドル—ルビー1個 8,000～8,999.99ドル—ルビー2個 9,000～9,999.99ドル—ルビー3個



財団認証ポイントについて お問い合わせ : RotaryFoundation.Japan@rotary.org

DDFの配分3年分 (、2018-19年度、2019-20年度、2020-21年度)

2020.07.10現在

実施年度	計画年度	資金年度	収入	ドル	支出	ドル	残高(繰越金)
2018-19 (確定済) 協年度	2017-18 大谷年度	2015-16 田中年度	2015-16年度年次寄付の50% 2017-18年度の恒久基金収益の50% 2017-18年度からの繰越金	188,889 26,760 21,854	ポリオプラスへの寄付 国際研究のためのロータリーセンターへ 地区補助金 グローバル奨学生(2018-19年度)2名 グローバル補助金(D3662プロジェクト) グローバル奨学生(2019-20年度)1名 グローバル補助金(秦野中)	50,000 0 94,250 34,000 10,000 17,000 26,420	
			計	237,503	計	231,670	5,833

実施年度	計画年度	資金年度	収入	ドル	支出	ドル	残高(繰越金)
2019-20 (確定) 杉岡年度	2018-19 脇年度	2016-17 佐野年度	2016-17年度年次寄付の50% 2018-19年度の恒久基金収益の50% 2018-19年度地区補助金からの繰越金 2018-19年度からの繰越金	204,956 27,950 16,254 5,833	ポリオプラスへの寄付※1 国際研究のためのロータリーセンターへ 地区補助金(奨学金) 地区補助金(プロジェクト) グローバル補助金(VTT) グローバル奨学生(2019-20年度)1名 グローバルプロジェクト	30,000 25,000 21,000 86,730 40,000 17,000 0	
			計	254,993	計	219,730	35,263

実施年度	計画年度	資金年度	収入	ドル	支出	ドル	残高(繰越金)
2020-21 (予定) 久保田 年度	2019-20 杉岡年度	2017-18 大谷年度	2017-18年度年次寄付の50% 2019-20年度の恒久基金収益の50%※2 2019-20年度からの繰越金※3 (2018-19年度恒久基金収益50% の27,950ドルを含む)	222,070 未確定 35,264	ポリオプラスへの寄付 国際研究のためのロータリーセンターへ 地区補助金(奨学金) 地区補助金(プロジェクト) 地区補助金(管理費) 地区補助金(臨時費) グローバル奨学生(2020-21年度)2名 グローバルプロジェクト	30,000 25,000 27,000 82,215 500 14,287 34,000 20,000	
			計	257,334	計	233,002	24,332

※2: 2020年7月における見込み額
※3: 実際には、前年度の恒久基金の収益が入る

※1: 余剰金が入ったため、ポリオ11000ドル→30000ドル

久保田実施年度